

いま新富町のこの人が気になる

SHINTOMI-JIN

#004 今月の新富人

1958年、宮崎市生まれ。1990年から新富町商工会女性部に入り、2016年からの2年間は部長と県商工会女性部理事を務める。2020年5月より、宮崎県商工会女性部連合会の会長に就任。新富町商工会女性部の有志で結成したダンスチーム「ルーピンレディ」のメンバー。株式会社広瀬取締役。

宮崎県商工会女性部連合会会長 広瀬美智子さん

部長や理事に就いた当初は、右も左もわからないことだらけだった広瀬さんですが、その胸中は「これから知らないことがわかるかも」とワクワクしていたそうです。しかし、他の人は同じ状況に強い不安を感じるかもしれません。そうした不安をなくすため、広瀬さんは初めて部長に就任した人の気持ちに寄

打診があったそうです。

部長と県商工会女性部連合会の理事を兼任した経験もあって、今回の会長の

講師直伝の本格ダンスを披露する、女性6人組「ルーピンレディ」。彼女たちは、新富町商工会女性部の有志で立ち上げたダンスグループで、こゆ朝市など町内のイベントに引く手あまたの存在です。メンバーの1人、広瀬美智子（ひろせみちこ）さんは、初対面の人でも打ち解けやすい、はじけるような笑顔が印象的。そんな広瀬さんは今年5月、県内に35部ある商工会女性部のまとめ役である、宮崎県商工会女性部連合会の会長に就任しました。

商工会女性部とは、商工会や商工会青年部とともに地元事業者への支援や協力、地域活動・イベントの主催や参加、部員同士の交流促進などを行う団体で、活動は多岐にわたります。部長になると、さまざまな役職を兼任します。広瀬さんは2年前に、



大きくなって自分も経営に加わり、事業のこと、従業員のこと、労働環境のことなど責任ある立場で考えるようになると、前向きに取り組むように変わっていったそうです。「立場や環境が人を変える」、これが今の広瀬さんの持論です。

さらに、福岡県男女共同参画センター元館長の中嶋玲子さんの公演での言葉に感動を受けます。

「女性は役職を遠慮しがちだけれど、周りの人はあなたに頼んでいるのだから『私でよければ頑張ります』と言って引き受けなさい」

会長就任の打診を受けて及び腰だった時、持論と中嶋さんの言葉を思い出して、就任を引き受けた広瀬さん。「いろんな業種、事業規模の人がいるからこそ、悩みを聞いてもらえたり、新しく得られるものがあつたりします。入ってよかったと思ってもらえる商工会女性部づくりをしたいですね」と、抱負を語っていました。



り添い、わかりやすい説明を心がけているといえます。

そんな気配りと行動力あふれる広瀬さん、かつてはできない理由を探して一歩を踏み出せない、臆病な性格だったとい

います。しかし、家族経営していた会社が